公益財団法人
社会貢献
支援財団

2026 年 11 月 2 日

ニュースリリース

「第 66 回社会貢献者表彰」
受賞者発表

公益財団法人 社会貢献支援財団（会長　安倍　昭恵）は、11 月 2 日に「第 66 回 社会貢献者表彰」の受賞者を発表しました。

本表彰は、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に表彰するもので、1971 年の開始以来、これまでの表彰件数は 12,888 組に上っています。

昨年 10 月 31 日までに寄せられた推薦（174 組）の中から 61 組を選考し、夏（7 月 30 組）と冬（11 月 31 組）に分けて表彰しています。
受賞者には賞状および副賞として日本財団より 100 万円を贈ります。

受賞者のプロフィールについては当財団ウェブサイトをご参照ください。

なお、表彰式典は 11 月 30 日（月）、帝国ホテル東京・富士の間で行います。

お問い合わせ先：公益財団法人 社会貢献支援財団
担当：飯田
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 801
TEL:03-3502-0910　FAX:03-3502-7190
E-mail: fesco@fesco.or.jp

【社会貢献者表彰制度について】

公益財団法人社会貢献支援財団は、1971 年の設立以来、社会の各分野で顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、その貢献に感謝して労をねぎらうため、表彰を行っています。これまでの 55 年間の表彰数の累計は、12,888 件に上っています。

受賞者の詳細につきましては、財団のウェブサイト(https://www.fesco.or.jp/)をご覧ください。

候補者の推薦は、個人・団体を問わず広く一般から公募し、選考は学識経験者で構成される選考委員会が行います。推薦にあたっては、候補者の年齢・職業・性別・国籍などの制限はありません。

なお、この事業は、日本財団の助成金の交付を受けて実施しています。

【対象となる内容】

・精神的、肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧、幸福のために尽くされた功績
・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
・海の安全や環境保全、山や川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護に尽くされた功績
・家庭で実子に限らず多くの子どもを養育されている功績
・その他の功績

【表彰者選考委員】

委員長　吉永 みち子（ノンフィクション作家／（公財）民間放送教育協会 会長）
大武 健一郎（元国税庁長官／認定 NPO 法人ベトナム簿記普及推進協議会 名誉会長）
小川 記代子（産経新聞社　東京本社 編集局 編集委員）
久米　 信行（明治大学　講師）
増田　 明美（スポーツジャーナリスト／大阪芸術大学教授）

（敬称略）